

経済学数学 (才2回)

No. 2019.03.11
Date

2019.03.11

参考図書 862.4 岡村宗二著 経済学入門の数学入門 同文館刊
2000.12 岡部恒治著 経済学入門 新生社刊

関数関係

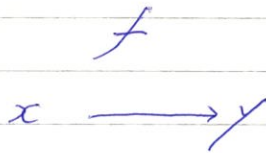
$$U = U(x, y)$$

親の消費 x

子供の消費 y

(1) 関数の表示 $f(x, y) = 0$

(2) 関数の表示 $y = f(x)$



ある関係 (f) を通して, x と y の関係を示す

$$C = C(Y)$$

消費 C が国民所得 Y に依存して決まる

このとき f のかわりに C を使っている

C が Y と比例関係で変化する



$Y=0$ のとき $C=b$ とする

$$C = aY + b \quad (a > 0, b > 0)$$

$U = U(x, y)$ の效用関数は、

x と y を消費する (定規) とき、 x と y のレベルを介して、

效用 (満足) U が得られる (定規) という関係を示している。

3. 合成関数の微分

$$(1) \quad \left. \begin{array}{l} y = f(u) \\ u = g(x) \end{array} \right\} \text{ かつ } y = f[g(x)] \text{ とすれば、} y \text{ は } x \text{ の関数で表わされる。}$$

$y = f[g(x)]$ は、2つの関数の合成関数 (composite function) と
言われる。

例えば、国民所得 y は、投資 i の関数とあり、

投資 i は時間 t の関数とすると

$$y = f(i), \quad i = g(t) \quad \text{で、} \quad y \text{ は } t \text{ の関数となって、}$$

$$\text{結局、} \quad y = f[g(t)] \text{ と表わされる}$$

この等関数は、

$$y' = \frac{dy}{dx} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f[g(x+h)] - f[g(x)]}{h} \quad \text{と表わす}$$

$$\text{ここで } m = g(x+h) - g(x) \text{ とおくと}$$

$$y' = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(u+m) - f(u)}{m} \cdot \frac{m}{h}$$

$$= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(u+m) - f(u)}{m} \cdot \frac{g(x+h) - g(x)}{h} \quad \text{と表わす}$$

$$h \rightarrow 0 \text{ であるから、} m \rightarrow 0 \text{ である。 故に}$$

$$y' = \lim_{m \rightarrow 0} \frac{f(u+m) - f(u)}{m} \cdot \lim_{h \rightarrow 0} \frac{g(x+h) - g(x)}{h}$$

$$= \frac{dy}{du} \cdot \frac{du}{dx} \quad \text{と表わす}$$

10. 偏微分係数と偏導関数

No. 15

Date

(1) ある領域に定義された関数 $z = f(x, y)$ の場合、

独立変数は2個ある、2個のうち片方の変数を定数とみなし、
1変数のみの関数になる。

すなわち、偏微分係数 (partial differential coefficient) とは、

$f(x, y)$ の一点 (x_0, y_0) において

$$f_x(x_0, y_0) \equiv \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x_0 + h, y_0) - f(x_0, y_0)}{h}$$

$$f_y(x_0, y_0) \equiv \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x_0, y_0 + h) - f(x_0, y_0)}{h}$$

$f_x(x_0, y_0)$ は点 (x_0, y_0) において $f(x, y)$ の x に関する偏微分係数

$f_y(x_0, y_0)$ は点 (x_0, y_0) において $f(x, y)$ の y に関する 〃 といふ。

(2) 経済量に関する例

① 効用関数は $u = f(x_1, \dots, x_n)$

u : 効用, x_i : 消費財の数量

② 生産関数は $z = f(y_1, \dots, y_m)$

z : 生産量, y_i : 生産要素の投入量

③ 効用関数の x_i に関する偏導関数

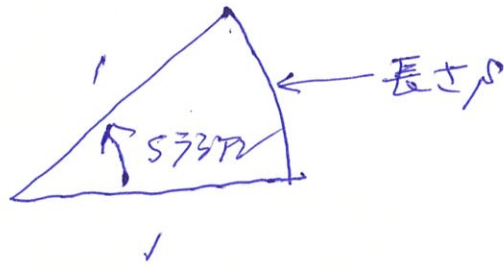
$$\frac{\partial u}{\partial x_i} \equiv \frac{\partial f}{\partial x_i} \equiv f_{x_i} \quad i\text{財の限界効用}$$

3/ ラジアン

3/

(1) 半径1の円を単位円という

この弧の長さから s のとき、「中心角は s (ラジアン)」という



(2) 単位円 (半径) 1 の円周の長さは 2π だから

1回転の角度は 2π (ラジアン) となる
 360°

その半分の半円の角度 180° は、 π ラジアン、

更にその半分の垂直の角度 90° は $\frac{\pi}{2}$ ラジアンとなる

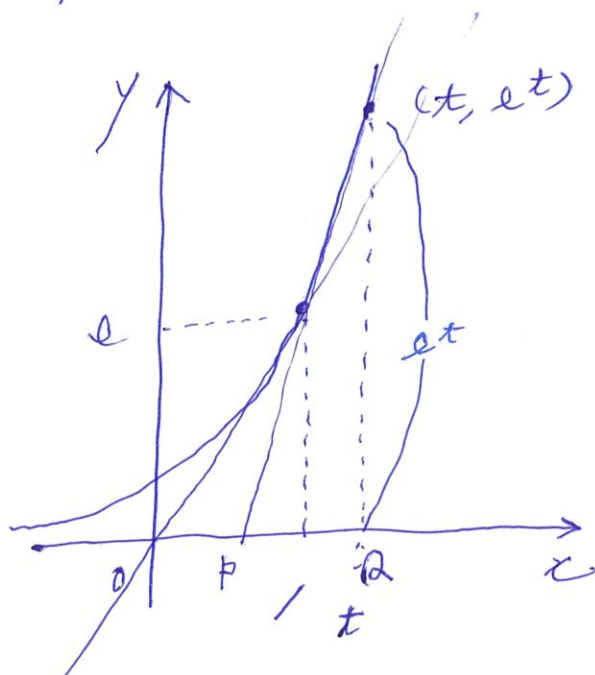
(3)

度数($^\circ$)	0	30	45	60	90	180	270	360
ラジアン	0	$\frac{\pi}{6}$	$\frac{\pi}{4}$	$\frac{\pi}{3}$	$\frac{\pi}{2}$	π	$\frac{3\pi}{2}$	2π

27

 $y = e^x$ の微分

27



この曲線上の点 (t, e^t) での、接線の傾きは、
 x 軸方向に、1進む間に、上へ

$$0 \rightarrow e^t$$

と、 e^t だけ上がっている。よって傾きは、

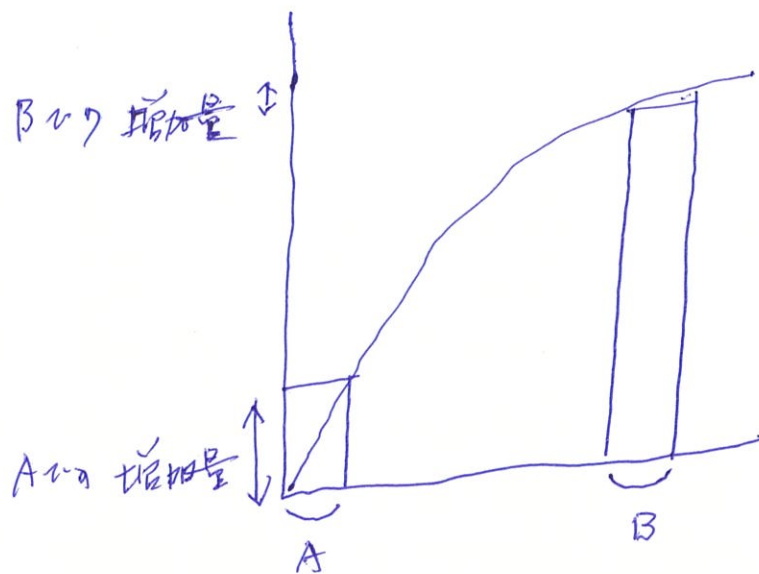
$$\frac{e^t}{1} = e^t \text{ となる。}$$

つまり、PQ の $1/t$ というのは、接線の傾きが接点の
 y 座標と等しいことを意味している。

$$f(x) = e^x \text{ ならば、} f'(x) = e^x \text{ となる}$$

$$\text{これを } (e^x)' = e^x \text{ と表す。}$$

$f(x)$ の導関数 $f'(x) = f(x)$ となる。つまり $f'(x) = f(x)$ と
 定ると、 $f(x) = e^x$ となる。



満足度の関数

(1) 効用関数・限界効用財の量 x のときの満足度を示す関数 $u(x)$ を 効用関数 という財 x を 1 単位増やしたときの $u(x)$ の増加量を 限界効用 という $x=a$ での限界効用限界効用は減少する — 限界効用逆減の法則

(2) 効用関数

① $u(x) \geq 0$

増加関数 — 効用関数

② $u'(x) \geq 0$

— 限界効用関数

③ $u''(x) < 0$

減少関数 — 限界効用逆減の法則

4.1. 対数関数

41

(1) ウェーバーの法則

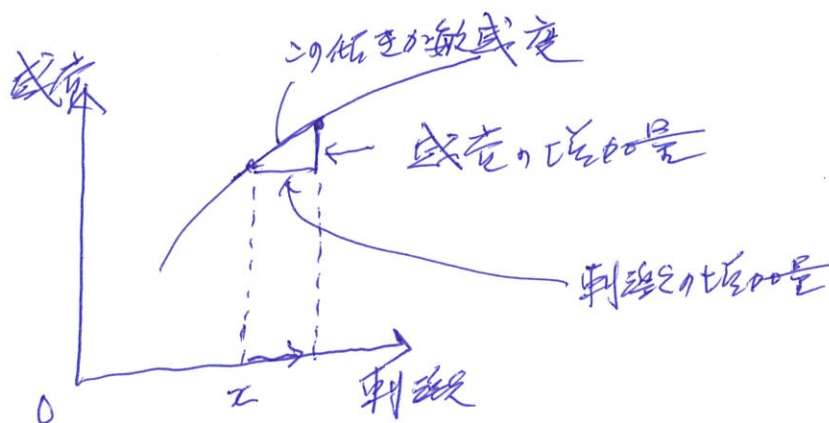
刺激の変化に対する敏感度は、その時点の刺激の大きさに反比例する。

(2) 限界効用逓減の法則は、

「何か増える」という刺激の変化に対する「満足感の増大」という敏感度の図はであって、ウェーバーの法則である。

(3) 刺激の大きさ $x \rightarrow$ 感じる感覚量 $y = f(x)$

敏感度は、
$$\frac{\text{感覚(満足)の増加量}}{\text{刺激の増加量}}$$



これは接線の傾きを y' とする

この y' と x の刺激の量 x に 反比例するのだから

$$y' = \frac{k}{x}$$

46. 変数関数

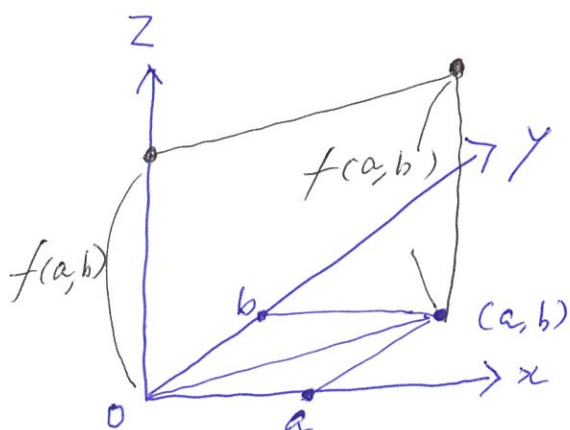
経済 (経済) 現象は 1 の変数にのみ決まるとい

(1) 2 変数 x と y に依存する関数 $f(x, y)$ について、

x 軸と y 軸に垂直な z 軸をとり、

そのグラフを $z = f(x, y)$ と記す。

つまり、 xy -平面上の $(x, y) = (a, b)$ の点に対して、
その点での $f(x, y)$ の値 $f(a, b)$ を高さ (z 軸) として
曲面を描くのである。



(2) 定数 m, n, k に対し

$$z = mx + ny + k \text{ の表すグラフを平面とし、}$$

すなわち、 $x = a$ (定数) とおくと、 $z = ny + ma + k$ という直線
のグラフになる。

また、 $y = b$ (定数) とおくと、 $z = mx + nb + k$ という直線
のグラフになる。

4.7 偏微分 (1変数のとき微分に当りもの)

∂ は ラウダー と読む !!

(1) 2変数関数の連続性

2変数関数 $f(x, y)$ は、そのグラフ $z = f(x, y)$ の曲面に裂け目がないと連続という

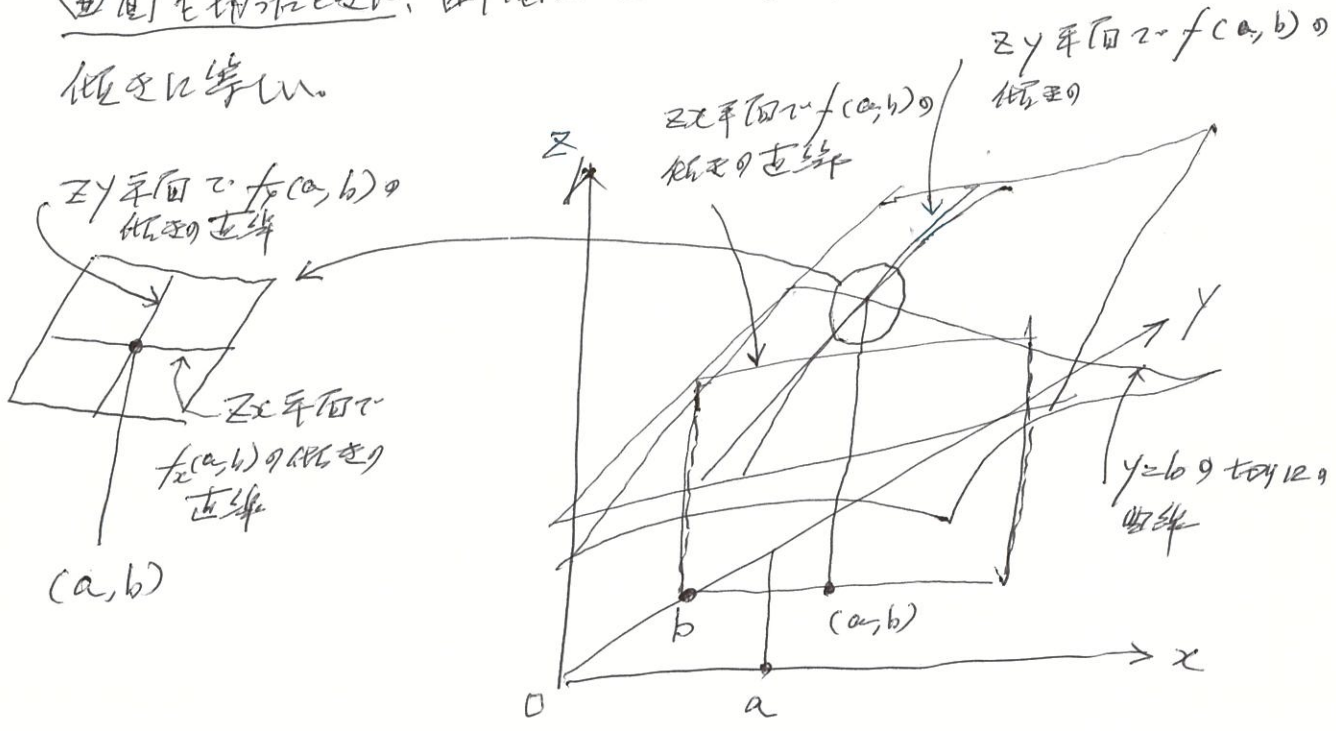
(2) 1変数のときは、グラフの曲面を拡大して 線分と見て、その傾き (= 接線の傾き) から関数を分析したが、同様のことをグラフの曲面に対しても行う。

(3) 関数 $z = f(x, y)$ の y を定数とみなし、 x で微分したものを z_x 、あるいは $f_x(x, y)$ 、あるいは $\frac{\partial f(x, y)}{\partial x}$ などと書き、

$z = f(x, y)$ の x に対する偏微分という

48 偏微分の性質

(1) 点 (a, b) での偏微分の値 $f_x(a, b)$ は、 $y=b$ なる平面で
曲面を切ったときに、断面に現われる曲線のその点での接線の
傾きに等しい。



(2) このことにより、曲面を十分大きく拡大したときに現われる
 平面 (接平面) の x 軸方向の傾きが $f_x(a, b)$ で、 y 軸方向の
 傾きが $f_y(a, b)$ とわかる。

この2方向の傾きは、 $z = mx + ny + k$ で、
 x 軸方向の傾きが $f_x(a, b)$ で、 y 軸方向の傾きが
 $f_y(a, b)$ とわかる。

(3) 点 (a, b) 上の曲面の点での、接平面は、

$$z = f_x(a, b)x + f_y(a, b)y + k \quad \text{とある}$$

55 経済への応用

1) 1種類の原料をもとに、1種類の財を生産する
 企業の生産関数を

$$y = f(x) \text{ とする}$$

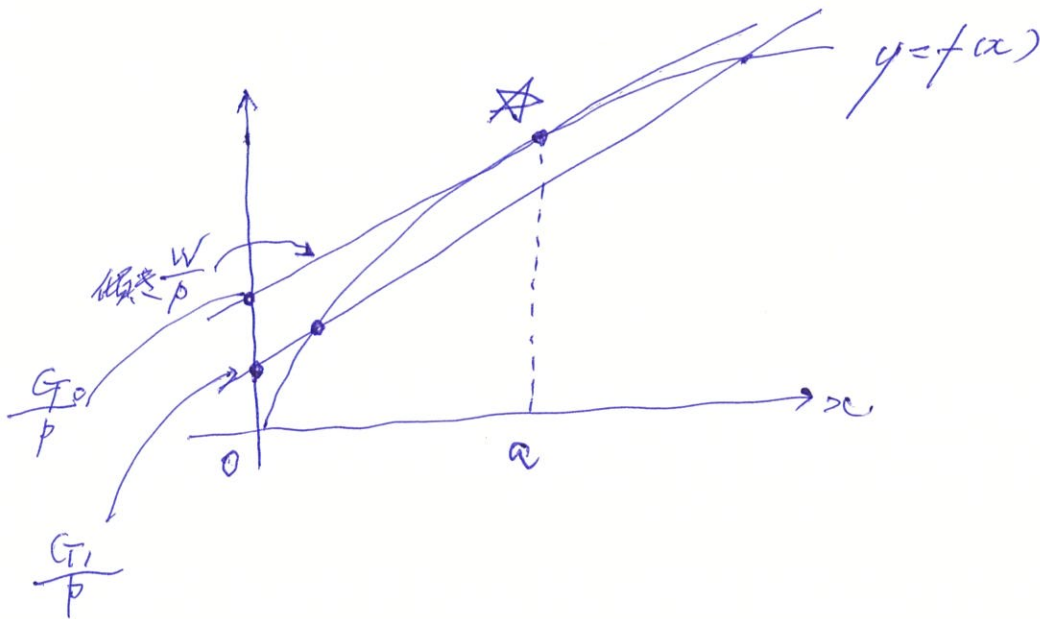
x は原料の量で y は生産物の量である

このとき 生産物と原料の価格が p, w とする

$$\text{利潤 } G = py - wx \quad \star$$

このとき、利潤の最大値を与える原料の量が $x = a$ ならば、

$$pf'(a) = w$$



このグラフで G を変化させると、

y 切片の G/p の値は w/p の一定の直線になる

G の最大値を求めると、 p は一定だから y 切片の最大値は G の最大値
 $\star$ の y 切片の最大値は G_0 であるから、 $\star$ の点から $y = f(x)$ と接するとき

56.

(2) 2つの原料を x, y とし、生産物を z とする

$$z = f(x, y)$$

z 個の原料の価格を p, w, s とするとき

$$\begin{aligned} \text{利潤 } G &= pf(x, y) - wx - sy \\ &= p \cdot z - wx - sy \end{aligned}$$

G の最大値を与える点 $(x, y) = (a, b)$ とする

$$p \cdot f_x(a, b) = w, \quad p \cdot f_y(a, b) = s$$

成り立つとき、——

$z = \frac{w}{p}x + \frac{s}{p}y + \frac{G}{p}$ となるから、この平面の z 切片 $\frac{G}{p}$ の最大値を求めたい。

よって、 $(a, b, f(a, b))$ で $G = pz - wx - sy$ の接平面に
対応する点 (a, b) で G は最大となる。

② 貨幣需要の理論

No. /

Date . . .

久野陽介先生「経済学」勉強

1. 流動性選好理論

$$\frac{M}{P} = L_1(i, y) + L_2(i) = L(i, y)$$

M 名目通貨保有量

P 一般物価水準

y 実質所得

i 名目利子率

) $\frac{M}{P}$ 実質貨幣需要

L_1 予備的動機に基づく貨幣需要

L_2 投機的動機に基づく貨幣需要

$\frac{M}{P}$ は、名目利子率 i の減少関数 $\frac{\partial L(i, y)}{\partial i} < 0$

、実質所得 y の増加関数 $\frac{\partial L(i, y)}{\partial y} > 0$

比号 $\frac{\partial L(i, y)}{\partial i}$ $\frac{\partial L(i, y)}{\partial y}$ は、貨幣需要関数 $L(i, y)$

をそれぞれ名目利子率 i 、実質所得 y 2変数「偏微分」する
操作を表す。

偏微分とは、複数変数 (この場合、 i と y) のうち、他の変数を
固定させるとき、一つの変数のみを微分・部分微分すると、
関数値 ($L(i, y)$) の値がどのように変化するのを知ることができる。

2. 貨幣数量説 フィッシャー
フリードマン

貨幣数量説とは、一般物価水準は、名目貨幣残高に
よって決定されるという考えである。

フィッシャー (1867-1947) は、貨幣の流通速度という概念
により、貨幣の流通速度 V は、名目貨幣残高 M の一単位が、
何年位の名目所得を生むかを表し、これを金融制度を反映させ
ると考えた。

$$V = \frac{PY}{M}$$

フィッシャーは、 V の逆数 $k = \frac{M}{PY}$ をマーズウの k と比較し
るとは、貨幣や金融制度の変わらぬ限り、一定 であり、
景気変動と無関係であると述べた。

フリードマンは、恒常所得仮説により

貨幣需要に依存するのではなく、将来に渡って
支出されると予想される恒常所得 y_p であると述べた。

L の中に入る変数は、変動の大きい所得 y ではなく、
景気変動に左右されない、より安定した恒常所得 y_p とい

$$\frac{M}{P} = L(y_p)$$

$$V = \frac{Y}{L(y_p)}$$

貨幣需要を決める恒常所得 y_p
は、景気の変動と無関係に、長期的所得と
なる。

を下げ、貨幣需要の過小になり、逆に、景気の上昇と無関係に、 y_p の上昇で
上回り貨幣需要の過大になる。よって、貨幣の流通速度 V は恒常環境 $Stab$ となる。

3. 流動性選好理論 インサ

インサは、一般理論において、貨幣需要と取引手段、
準備的印機、投機的印機との

前二者における実価の貨幣需要は所得の増加の割合(+)の
増加に対し、後者に基づき実価の貨幣需要は利率の減少の割合
の増加と定量化される。

$$\frac{M}{P} = L(y, i)$$

実価貨幣残高

実価所得, 名目利率

これらより、貨幣の流通速度 V は、

$$V = \frac{PY}{M} = \frac{Y}{L(y, i)} \quad \text{となり、}$$

名目利率 i により表わされる量と相関があることを示す。

量が増えることを示す、インフレ率の上昇を示す。

名目利率の上昇、

逆に量が増えることを示す、名目利率の低下。

名目利率 i の上昇 (量が増える) と、貨幣需要は減少、
流通速度 V は大きくなる。

つまり、貨幣の流通速度は順周期的に $pro-cyclical$ である。

フィッシャー方程式

名目利子率と実利子率の関係を示すフィッシャー方程式

時点	$t=0$	$t=1$
物価水準	P_0	P_1
名目利子率		i
1円の変化	1円	$\longrightarrow (1+i)$ 円
1円につき 支払われる数量	$(1+i) \frac{P_0}{P_1}$	$\longleftarrow \frac{1+i}{P_1}$
実利子率		$(1+i) \frac{P_0}{P_1} - 1$

実利子率を r , インフレーション率 π を仮定して $\frac{P_1}{P_0} - 1$ を仮定して

$$1+r = (1+i) \frac{P_0}{P_1} = \frac{1+i}{1+\pi}$$

近似値として $r = i - \pi$

5. 流動性危機 (ケインズ)

(1) 流動性危機、交換手段にある貨幣と、金と銀とを表す

(2) 流動性の罠

利率の低い水準まで低下した後は、ほとんどの人が低い利率の債権よりも、現金の方を選択すること。

このように、短期利率が充分に低いと、長期債権に対する需要が枯渇し、流動性(現金保有)に対する需要が無限大になる状態

(3) 金パニック

历史上、土地を所有しようという欲求が、利率を過度に高い水準に維持すること、現代において貨幣が溢れているのと同じ役割を演じていることがある。

金パニックは、ある点で流動性の罠の状態のようで、投資家の間で土地や株式などの資産が永続的に取引されなくなる状態を招き、金パニックは流動性に対する需要が無限大になる場合を生じる現象がある。

(4) 貨幣というのは、貨幣物に対する異常な信頼、信仰

レフソン 2 経済学入門

日本経済の戦後の歩みと今後の展望

オクスフォード大学の解剖学者 マイケル・ハート

初期資本主義の解剖学 — 政治芸術

フランスルイ15世の侍臣 フランソワ・クネー

血液循環の基礎を基に — 経済表
(経済の流通過程)

人傾斜と生産

資源と石炭生産を主として 岩倉及び吉原を投入

内外市場分析批判

2. 高度経済成長

歴史 --- それぞれの部合、核心

(1) ケインズ
の核心

英の消費不足、実情

消費が最重要、有効需要、不況対策
デフォルト経済学、公共事業、消費拡大
雇用と満足するもの重視、茶の湯と酒の消費

(2) 戦後の農業改革 ---

(1) 工場労働者の必要

(2) 農村に補助 --- 徐々に減少、毀滅 ^{小規模地} _{hukimie}

30年後 農村 50% → 5%

(3) 商店改革 --- 世界に対抗する大型商店

(1) 大型店の育成と制限

(2) 商店街の保護 --- 逐漸地低塔

商店街、小売店衰退と大型化、工業地

3. 日本経済の現状 (41)

1945	<u>誕生</u> 栄養失調により生存が危ぶまれる	インフレ, 失業, 資本不足
1950	<u>幼稚園入園</u> を機にヨチヨチ歩きから <u>脱却</u>	朝鮮戦争による特需ブーム
1960~70	<u>中学入学前後から20代半ば</u> までどんどん成長, ただし過保護な親のもと	高度成長, 所得倍増計画, 政府による各種の規制
1964	<u>成人式を前に</u> , 大人の仲間入りの気分となるが, 責任感はやや欠如	東京オリンピック, 東海道新幹線開通
1971~74	<u>周囲から大人としての対応を求められ困惑</u> , ノイローゼ気味	ニクソン・ショック, 石油危機, 変動相場制へ移行
1975~80	<u>体質改善に努力するが</u> , 後遺症に悩む	減量経営, 大量の赤字国債
1981~85	<u>やや落ち着きを取戻し</u> , 大人としての付き合いを始める	金融自由化・国際化の進展, プラザ合意により円高へ
1986~90	<u>不惑を過ぎて</u> , なぜか酒・タバコに溺れる	バブル・財テク

大急ぎ

トーン

沖地

TEMの後
泣き

4. 現状への対策 (長期トレンド)

VBA

Visual Basic for Applications

1. Excel マクロ

Excel の自動化 → マクロ

2. 文法 ヴィスケット ヴィスケット

source code (source program)

人間による可読性 → 機械語へ翻訳

C 言語などと同じ

コードは教科書を書く

一行に 1 命令

上から順に命令を実行

Sub Sample1()

Range("A1").Select セル A1 の選択

Selection.ClearContents セル A1 の削除

End Sub

3. VBA を使うための準備

(1) 「セキュリティの警告」の「コンテンツの有効化」をクリック
 ---- マクロが利用できる状態

(2) セキュリティ設定を変更する

① リボンの「ファイル」→「オプション」をクリックして
 システムオプションを表示

② 「セキュリティセンター」メニューの「セキュリティセンターの設定」
 をクリック

③ 「マクロの設定」メニューの「警告を表示し、すべてのマクロを
 有効にする」を選択

VBAの起動

(3) リボンに「開発」タブを追加する

① リボンを右クリックし、

「リボンのユーザー設定」をクリック

② 「開発」をクリックしてオンにし、「OK」をクリック

③ リボンに「開発」タブが追加された

4. マクロ有効ブックとして保存

(1) Excelの標準ファイル形式には、プログラムを保存する機能はない

(2) マクロの保存は、ファイル形式を選ぶメニュー「マクロ有効ブック」を選択する

① クリックアクセスメニューの「上書き保存」をクリック

② ファイルの種類で「Excel マクロ有効ブック」を選択し保存する

5. プログラムを書くための画面「VBE」を開く

(1) 「VBE」統合開発環境

Visual Basic Editor

① 「開発」タブの「Visual Basic」をクリック

② VBEが表示される

1. プログラムのコードエディタ

プログラムのコードとコメントの一行を表示する

2. プロジェクトウィンドウ

ユーザーフォームなどのオブジェクトの配置を変更する

3. プロパティウィンドウ

プログラムのプロパティを入力・編集する

4. ツールボックス

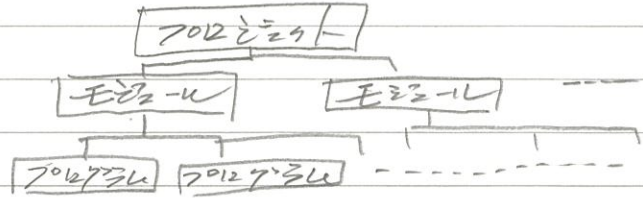
ユーザーフォームボタンやコントロールなどの配置を行う

6, VBPのフォームを構成して11部品

(1) フォームシート

(2) モジュール

(3) フォーム

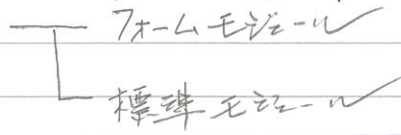


(4) フック — フォームシート — モジュール1
モジュール2

システムを記述するためのファイル

モジュールを追加する際は、VBAの「挿入」メニューをクリックして標準モジュールを選択する。

(5) モジュール



モジュールの変更は、VBAの「表示」から「コマンドウィンドウ」を選択して行う

(6) 画面の作成 — エーサーフォーム (フォーム) — カスタマイズ
専用画面

7. 「マクロの記録」でフォームから記録

(1) 「開発」タブの「マクロの記録」をクリック

(2) Excelのブックに操作を行う

(3) 再度「開発」タブの「マクロの記録」をクリック

(4) Excelのブックに操作からマクロとして記録される

「マクロ有効ブック」形式で保存

① File の「名前を付けて保存」画面で
保存先とファイル名を決定

② 「ファイルの種類」右のプルダウンをクリックして、「Excel マクロ有効ブック」を選択し
「保存」

通常保存 — 「u.u」

VBA を含む ファイルを開く

① マクロ有効ファイルを開く

拡張子「.xlsm」

ファイルのアイコン「！」が表示される

② マクロ有効ファイルを開くと、セキュリティ警告が表示される

「コンテンツの有効化」をクリックして マクロを有効にする

このファイルは、マクロを含む可能性があります。

レッスン2 テーブルの印刷

(マクロ)

1-1 作業用ファイル マクロの記録 .xlsx を開く

2 「表示」タブをクリック

3 「マクロ」をクリック

4 「クラスB成績表印刷マクロ」と入力

5 保存先 作業中のブックを選択

6 「OK」をクリック

マクロの記録から開始される

4-1 クラスBのデータを抽出

セルA1をクリックして、「クラス」を使用

2 テーブルタブをクリック

3 範囲を指定

4 「クラス」列のフィルターボタンをクリック

5 「(すべて選択)」を選択して 列を絞り込む

4-1 「B」をクリックして 4-2-2-7 を入力

-2 OKをクリック

5-1 フィルタタブをクリック

2 印刷をクリック

3 印刷範囲 → 印刷

6-1 772Bの抽出を解除にする

「772」をクリック

2 772R-をクリック

3 「表示」タブをクリック

4 「172」をクリック

5 「解除済」をクリック

8-1 名前をつけた保存

「FPM」タブをクリック

2 名前をつけた保存をクリック

4 ~~参照~~をクリック

4 ファイルの保存場所を指定

5 ファイル名を入力

6 ファイルの書名 - Excel

プログラミング

人(肉)の理解しやすい言語
(人間用)

ソースコード

VBA 言語

BASIC "

PIPS "

コンパイル
(翻訳)

機械の理解しやすい言語
(PC用)

バイナリコード

Binary
2進法

↓
実行

変数

データを特定の格納しておくこと

変数宣言

変数を使用するための定義

Dim 変数名 As データの型、種類
↓
ここで使うこと

関数

小プログラム

引数を入力して 戻り値を返す
入力 出力

引数

入力する値

戻り値

外に出る結果

701274744

(1) 順次型 上から下に実行する

(2) 分岐型 条件により 701274744 流れる方向が異なる

(3) 繰返型 処理を4回繰り返す
10-70

7373年の意味と計算式

(1) 変数 西暦年を「year」とする 入力用のBox

(2) 条件1 400で割り切れる $year \text{ mod } 400 = 0$

(3) 条件2 4で割り切れる $year \text{ mod } 4 = 0$

(4) 条件3 100で割り切れない $year \text{ mod } 100 < > 0$

条件1、または、条件2と条件3の両方を満たした場合のみ「真」

$(year \text{ Mod } 400 = 0) \text{ Or } (year \text{ Mod } 4 = 0 \text{ And } year \text{ Mod } 100 < > 0)$

アルゴリズム

ある目的を達成するための処理手順

「命令の羅列」→ 英語語を並べて「英語の文」を作る

付録

プログラミング上達のコツ

- プログラミング上達のコツは3つ
 1. 見本の真似をする
 2. 何度も書く
 3. 自分で考える
- 英会話や漢字の書き取りと同じ
 - 習ってから、自分のものになるまでは時間がかかる

②

桓公

huán

春秋

2018.07.09

2018.03.12

2018.01.08

2017.12.04

2017.09.04

2018.09.10

目的は何か

2019.01.07

管仲射中小白衣带钩。小白假装死了，管仲派人飞报鲁国。鲁国护送公子纠的部队速度就放慢了，六天才到齐国，而小白已先入齐国，高傒立其君，就是桓公。

机会、良机，绝好的时机

桓公当时被射中衣带钩之后，装死迷惑管仲，然后藏在湿车中飞速行进，也因为有高氏和国氏两家族为内应，所以能够先入齐国继位，派兵抵御鲁军。

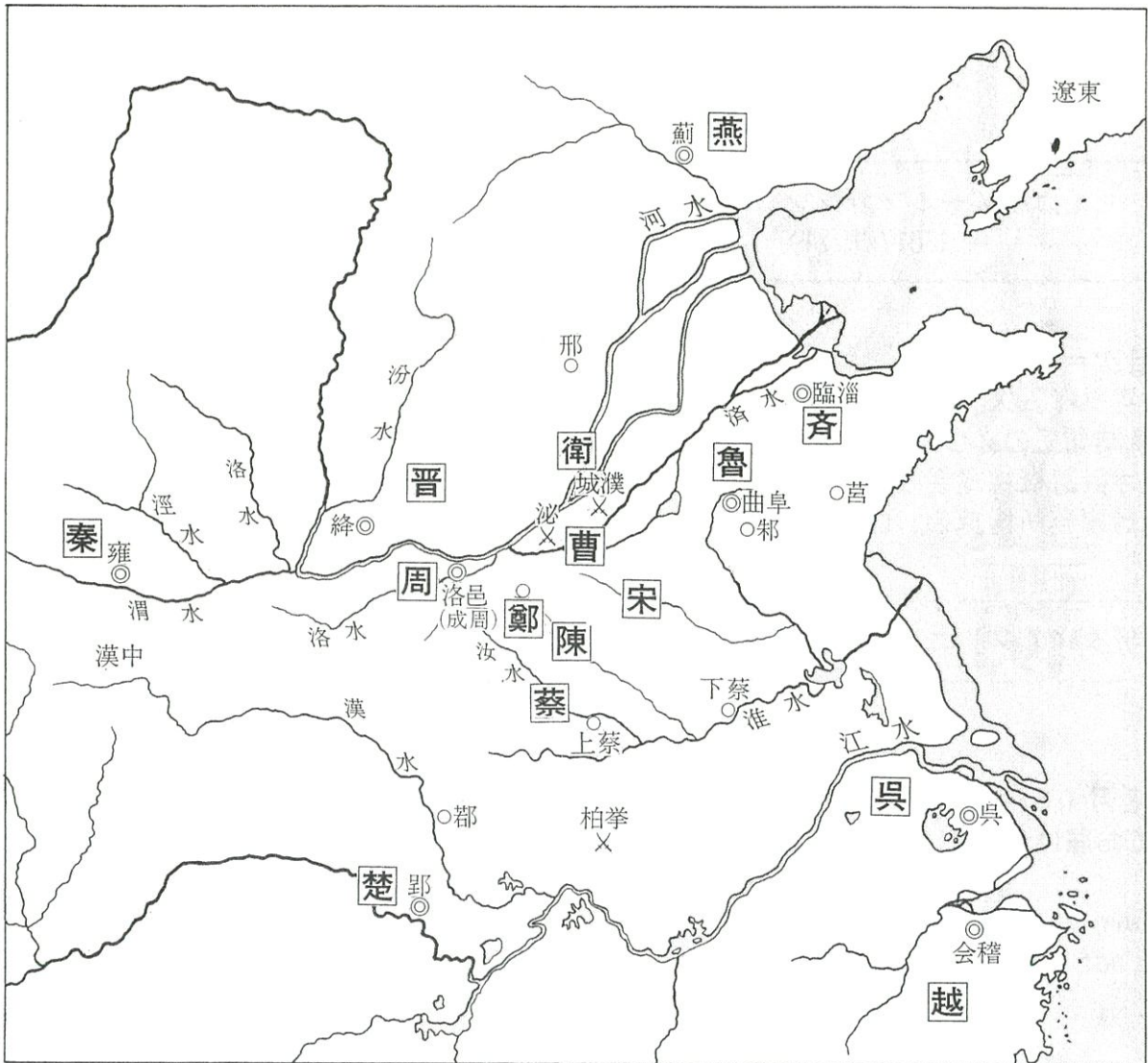
桓公即位时，派兵攻鲁，本欲杀死管仲。鲍叔牙说：“我有幸跟从您，您终于成为国君。您如果想成就霸王之业，没有管夷吾不行。夷吾所居之国，其国必定强盛，不能失去这个人才。”于是桓公听从此话。就假意召回管仲，报仇雪恨，实际是想任他为政。管仲心里明白，所以要求返回齐国。

桓公得到管仲后，与鲍叔共同修治齐国政事，组织基层五家连兵无制，开发商业流通，渔业盐业优势，用以给饷富民，奖励贤能人才，齐国人欢欣。

万乗の国には万全の賈利。千乗の国には必ず千全の賈利。……君の頼むと云ふ非ざるなり。君の与う所なり。……

政治の善く、民の富むるは、商人の集まることなり。商人の集まること、是れは富むることなり。……
政治を善くするに努力するべきことなり。
（そのみみちいことも考へて!!）

春秋時代の中国



司馬遷史記の覇者の条件 1987.11. 徳間書店より

実利主義者である鄭は、新しい問題に直面すると、最初は何もせず
問題を理解しようとはせず、それからようやく何をすべきかを考えた。

ソ連とハトハの脅威への対応策を考慮し、近隣の東南アジア諸国との
協力が早急に必要と認識し、国を強化するためにこれら7ヶ国法可を準備した。
しかし、これら7ヶ国の口をを詰めることは、今では後からこの協力を得るためには、

まず、現地の革命派に対する中立的な支持を停止し、そして華人に居住するソ連の
ことを奨励し、これら7ヶ国法可を準備した。 山本谷の英雄を心から愛する！！

拡大するソ連とハトハの脅威に対抗するため、四つの国境の造成に必要な協力を獲得
するための二つの方法は、日本とアメリカの関係を強化し、これを準備した。 鄭小年 エス・F・サウス

五年伐魯。魯莊公請輸穀以平。桓公許。與魯會柯而盟。魯將盟。曹沫以匕首却桓公於壇上。曰、反魯之侵地。桓公許之。已而曹沫去匕首，北面就臣位。桓公後悔，欲無與魯地而殺曹沫。管仲曰。夫劫許之，而倍信殺之，愈一小快耳。而棄信於諸侯，失天下之授，不可。於是遂與曹沫三敗所亡地於魯。諸侯聞之，皆倍齊而欲附焉。七年，諸侯會桓公於甄。而桓公於是始霸焉。

二十三年、山戎伐燕、燕告急于齊。齊桓公救燕，逐狄戎至于孤竹而還。燕莊公送桓公入齊境。桓公曰、非天子，諸侯相送不出境。吾不可以元禮於燕。於是分爲、割燕君所至與燕、命燕君復修召公之政，納貢于周，加歲。康元時。諸侯聞之，比從齊。

与えることは 取ることにあると知るなり 政治の力である。
史記 管晏列伝

將にえを取ること欲すなり、此す國とえを与え
老子

桓公

NO.

3

DATE

鲍叔把管仲从死罪中救出来推荐为相，自己甘作下手，……
后来鲍叔死，管仲在他墓前哀悼说：“生我者父母，
知我者鲍叔。”后人将管鲍二人墓连在一起。

管仲改革主要内容有“亲田附税”，增加税收；
士农工商分居，职业世袭，保证社会生产稳定；
并利用本国优越的自然条件，设置盐官，铁管，奖励盐
铁生产，并出炭给邻国，获取厚利。

军事上“作内政而寄军令”，把居民组织和军队编制结合
起来，组织三个军，利用农闲进行操练，做到夜里作战，只要
听到声音，就不会乱伍，白天作战，只要看见容貌，
大家就互相认识。从而加强齐国的军事力量。

PROGRAM NAME	PROGRAM NO.	PROGRAMMER
繆公 乙		
处理图 晋军攻击繆公，繆公受了伤。这时，曾在岐山下偷吃繆公良马的三百多个乡下人不顾危险骑马冲进晋军，晋军的包围被冲开，不仅使繆公得以脱险，又活捉了晋君。 一〃	处理手順	
处理条件 当初，繆公丢失了一匹良马，岐山下的三百多个乡下人一块儿把它抓来吃掉了，官吏提到他们，要加以法办。繆公说，“君子不能因为牲畜的缘故而伤害人。我听说了，吃了良马肉，如果不喝酒，会伤人。”于是就赐酒给他们喝，并赦免了他们。这三百人听说秦国要去攻打晋国，都要求跟着去。在作战时，他们发现繆公被敌人包围，都高举兵器，争先死战，以报答吃良马肉被免的恩德。		
DATE		

六韜 文王太公望

No.

1-2

Date

文王將田。史編布卜曰、田於渭陽將大得焉。非竜、非虎、
bù bǐ

非得公侯。天遺汝師、以文佐昌施及三王。

文王乃畜三日、乘田車駕田馬、田於渭陽。

zhāi 畜戒沐浴 zhāi jiè mù yù

卒見太公坐茅以漁。文王旁而問之曰、子樂漁耶。

太公曰、釣有三權。祿等以權、死等以權、官等以權。夫釣以求得也。

縵微鉤明、小魚食之、縵綢鉤香、中魚食之、縵隆鉤豐、大魚食之。

夫魚食其餌、乃牽於縵。人食其祿、乃服於君。故以餌取魚、

魚可殺。以祿取人、人可竭。以家取國、國可拔。以口取

天下、天下可畢。嗚呼、曼曼縣縣、其聚必散。熙熙日昧、其光必滅。

微哉聖人之德、活乎獨見。梁哉、聖人之慮、各歸其次而亡敵焉。

天下非人之天下、乃天下之天下也。同天下之利者、則得天下。

擅天下之利者、則失天下。天有時、地有財。能與人共者、仁也。

仁之所在、天下歸之。

誤った思想に執着するとは、とてつないで、
人生を破壊するに等しい。

No.

(2)

Date

妙法蓮華經 方便品 第二

仏が何を知らず、未曾有の妙法

2018.09.15
2018.09.15

卷一 方便品 第二

尔时 世尊从三昧^利而起。告舍^利弗。诸佛智慧。甚深无量。

其智慧^利門。難解難入。一切声聞、辟支佛。所不能知。所以者何。

佛曾亲近、百千万亿无数诸佛。尽行诸佛无量道法。勇猛精进。

名称普闻。成就^利甚深、未曾有法。随宜所说。意趣難解。

お釈迦さま

深奥な法

受け止めて、不信や執着の心がある
仏の意図が難しくなる。

方 就是方法

尔时

そのとき、タイムリー
瞑想を終えて

便 就是便利

三昧

不動の境地、心を集める
禅定のこゝ、心身の静かな基礎

随自意と随他意

難解難入

利 釈迦の教え、とても新鮮、所以に彼が信ずる人（一般人、声聞、
辟支仏等）は多く、所有の人々も知らない新知識... 所以に難入又難。

声聞

声を聞かぬ、智慧の門で悟る人

辟支佛

仏法の法理の一部を悟る人
小乗

甚深无量

仏の智慧は縦に高く深く、横に広く、生命のすべてに及ぶ
広大深遠

慧門

最高の英知を開く、門とは信じるの事

随宜所说

仏が随他意の立場で聞いた方便の諸教

意趣 仏の真意

納得、対話の必要あり、

勇猛

敢て心を高くし、智をつくらねば

無難

仏の教えは純粋

無碍 疑念なく不断に実践する

舍利弗。吾从成仏已来。种种因縁。种种譬喩。

広演言教。无数方便、引等衆生。令离诸著

所以若何。如来方便知见波羅密。皆已具足。舍利弗、如来

知见。广大深遠。无量无碍。力无所畏。

禅定解脱、三昧。深入无际、成就一切、未曾有法。

令离诸著 様々の執着から离れさせてきた、一人一人について

方便 手段、てびく

無量 広大にして 利他の心

聞三顯一 声聞乘、縁覚乘、菩薩乘の三乗を聞いて
一仏乘を顯す

仏が出現したのは、ありとあらゆる人々を仏にするためである。

仏に於ける人生の根本目的は、それ以外の目標は「方便」の

低い目標であるにすぎない。

いかにや 名聞名利などは、人生の真の目的ではない。

並正安に説 俗文に照らし警悟。人間の根本にある思想、宗教の如く此、
それを捨てた未来正法に目覚めなければならない、それには、必ず国土、
社会に反映する。

舍利弗。如來能^種分別。巧說諸法。言辭柔軟。
用諸法にてやさし

悅可眾心。舍利弗。取要言^{要点をきこは}之。无量无边^{無量の無限}未曾有法。

佛悉成就^止。舍利弗。不須復說。所以者何。

佛所成就才一希有難解之法。唯佛^{与佛}。乃能究竟
 諸法實相。所謂諸法如是相、如是性、如是体、

如是力、如是作、如是^因、如是^緣、如是^果、如是^報、
 如是本末究竟等。爾時世尊欲重宣此義、而說偈言。

因緣 原因、いわれ

引導 衆生を導いて仏道に入らせること

諸著 著は執着、此か何著のれといわれ、此の著しとある

成仏 悟りを成す

如來 仏、悟りの完成に到達した人

具足 満ち足り

知見波羅密 智慧にたどり着く能力、とあり 波羅密 到達する、先中にある

無量 利他の心 思ひやり 無礙 ことあるないこと 自在 一力 智力 道理に合ふことを容易にする

無所畏 畏れることのない自信 無礙をいふ。 禪定 心を一に定めて執着する

解脫 心の束縛からの解放

無量心 利他、思いやり (四無量心)

慈無量心 人々に喜びを与え、人を激励すること

悲無量心 人々の苦しみを除く心、救済

喜無量心 他人の喜びを妬まず、喜ぶ心 わがこととして喜ぶ心
人生に桜梅桃李、自分らしく生き、成長の喜び

捨無量心 差別心を捨て、平等に接する心 比較心

如是 かくりんとて、すなわち

諸法実相 諸の法、すべての存在、現象 法-智慧 実相 実在するもの

森羅万象 たいへん多岐にわたる一切衆生の成仏の根本である

本来究竟等 相と報、本と末は究竟して、等しい
9のすなわち一をいふ 一法は すべてのこと 法界は
正法 (主観) 依報 (環境)
衆生 環境世界

如是相 (外に現われし相) 如是性 (内に在る性) 如是体 (全体)

如是力 (潜在の力) 如是作 (外への作用) 如是因 (事物の原因)

如是縁 (間接的な原因条件) 如是果 (結果) 如是報 (結果の現れ)

如是本来究竟等 (首尾一貫して等しい)

諸法実相、十如是 (仏教の根本教義)

如是 このまじり

諸法 (この世のすべての現象) 実相 (真実、真理)
(現象) 現象世界 (本体) 真実の姿
日本の敗戦 一葉の落葉の 創価の時、天下の本
相 (外見) 性 (内に在る性)